

めざす子ども像

気づく、学び、考える、子どもを地域と学校が共に育てる

取組目標

**私たちは子どもに何が必要（ニーズをキャッチ）なのかを考え、
常に何が出来なのかを考え活動を行う**

今年度の取組紹介

【クリスマスコンサート】

イオン登美ヶ丘、ロータリクラブなどの企業の支援により毎年恒例のクリスマス・コンサートが、イオン登美ヶ丘店の店舗で開催され、保護者の人や多くの買物客の人たちに聞いていただきました。同時に「ひつじ放牧」の写真パネル展も開催しました。今年で6年目のクリスマスコンサート、企業や地域の人が支えていただいている事業です。



【とみきた塾の発表会】

とみきた塾は13の講座で291人の生徒が学んでいます。生徒を主体とした活動の発表会を開催しました。各クラブの発表に引き続き、保護犬の話やこども落語も楽しみ、あらゆる年代の人や、他校区の中学生など、多くの人との交流があり楽しいひと時を過ごしました。



今年度のまとめ

- ・地域のシンボリック的存在である「ひつじの放牧」は本年度再復活し、事業を行う事ができました。「ひつじの放牧」が地域に幅広く定着し、地域コミュニティの構築に大きく貢献していたことが、よくわかりました。地域からも暖かいメッセージが送られ、スタッフは勇気づけられました。
- ・保護者から「学校カレンダーアプリ」は便利であるという評価で加入率は安定していますが、今後レベルアップした取り組みをジョルテとも打合せて行きたいです。
- ・いろんな事業の企画を考えられますが、それを担い人材が不足しておりこれが大きな課題です。

来年度に向けて

- ・過去の事業は、学校、PTA、自治会の活動ではない、教育協議会独自の活動を目指してきました。
- ・「ひつじ放牧」「とみきた塾」「学校カレンダーアプリ」に加え、来年度は「わんわんパトロール」を新たな事業として行います。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

様々な活動を地域に発信する意識を持ち、できる限り子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実

【今年度の取組紹介】

学校と地域とより深く連携していくために、昨年度に続き、今年度の生徒会が目指す取組を地域の方に理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしました。

「地域ふれあい事業」では、東登美ヶ丘小学校や登美ヶ丘高校と朝のあいさつ運動を行い、登校する児童生徒や通勤途中の地域の方々への挨拶を行いました。

「防災教育推進事業」の炊き出し訓練では、地域の方と保護者の方に来校していただき、避難所運営カードゲーム「HUG」を活用した防災教室やハイゼックスを使った米炊きや非常食の仕分け作業と一緒に行っていただき、災害時の非常食の段取りや、それらに関わる苦労が体験できたことはよい経験になりました。さらに災害時に自分たちが取るべき行動についての心構えを持つことができました。「キャリア教育推進事業」では、講師の方に来校していただき、マナー教育や、面接指導、「労働に学ぶ」の講座などで人間関係形成能力や課題対応能力を培いました。



【今年度のまとめ】

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れております。今年度も、地域の方や保護者の方と連携して、防災訓練を行うことによって、被災時の行動を学び、自分たちも災害時には地域の一員として貢献しなければならないことを理解し、災害に対する心構えに変化が見られました。地域の大人から学ぶことの大切さも理解され、自分たちでできることの一つに地元の方へのあいさつ運動を計画することなど、地域に出向き大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

【来年度に向けて】

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の方と協働する活動の内容を充実させ、本校区の学校ブランド力を高めていくとともに、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、学校を起点とした新たな交流と地域の活性化につなげていきたいと考えております。また、地域に誇りを感じることができ、激変する未来においても活躍できる人材の育成に努めてまいります。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを育てる

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実

今年度の取組紹介

《学習支援事業》地域の方による学習の支援

◆家庭科実習支援

家庭科の調理実習、裁縫実習を中心に支援をしていただきました。複数の大人による支援が得られ、実習もスムーズに進めることができました。



《体験学習事業》ゲストティーチャーによる授業

◆平和の話 / おはなしの森 / 獣医師によるいのちの授業（いきものとなかよし）等

一年間を通してさまざまな体験授業を実施しました。どの体験も多く
の児童たちにとっては初めての体験であり、活動を通してその楽しさや難しさを知りました。また、伝統ある仕事に取り組んでおられる方が大切になさっていることや仕事への思いなどを知ることができ、今後の生活などに生かしていくことができる取り組みにもなりました。



《環境整備活動事業》地域の方と共に行う環境整備

◆通学路清掃、花壇整備、

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。特に年度初めの花壇整備を児童としていただくことで、働くことや環境整備の大切さを知る良い機会になっています。

今年度のまとめ

子どもたちは、戦争体験の講和や葛餅づくり体験、信楽焼体験等、日頃体験することのできない様々な体験を通し、多くの事を学びました。また、「いきものとなかよし」等のふれあい学習や体験学習では人との関わりや命の大切さを学びました。

また、地域の方を招聘しての学習の中で地域の方とお話しをする児童が増え、登下校時にも進んで挨拶をする児童が増えてきました。「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験であったと思いました。

来年度に向けて

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者や地域の方々と連携を深め、さらなる交流や繋がりをもつことにより、心豊かで自分が生活をするこの地域に誇りを持てる登美っ子の育成を目指していきたいと思います。

めざす子ども像

「気づく、学ぶ、考える子どもを育てる」

取組目標

○地域人材を生かした体験的学習の充実と読書活動の推進。

○恵まれた環境を生かした栽培活動や遊び・運動の推進。

今年度の取組紹介

○体験学習事業（1年 体験学習「昔遊び」）

1年生の体験学習事業として地域の方々をお招きしての体験学習を行いました。昔から伝わる伝統的な遊びを教えていただきながら、地域の方々と交流を深め、コミュニケーションの育成だけでなく、人との付き合い方を学ぶ貴重な場にもなったようです。



○読書活動推進事業（お話の会）

読書推進活動は朝読書・昼読書、お話の会、図書整備活動の3つの活動を中心に進めています。また、北部図書館の司書の方とも連携し、本の整理をしたり、様々なジャンルの本を紹介してもらったりしています。読み聞かせの活動も定期的に行い、子どもたちも楽しみにしています。

○環境整備事業

学校の広大な敷地を生かして、花いっぱい、緑いっぱいの素晴らしい環境づくりに取り組んでいます。東登美ガーデンや校門前の整備をはじめ、講師を招いての花植え教室では、基礎から教えていただき、高学年の児童も熱心に取り組んでいました。



今年度のまとめ

○各学年の体験学習事業では、実際に触れて、自ら経験する貴重な機会になっています。様々な方との触れ合いの中で、コミュニケーション力や仲間と力を合わせて協働する力を身に付ける良い機会になっています。

○環境整備事業では、東登美ガーデンの整備をはじめ、花や自然いっぱいの素晴らしい環境が保たれています。子どもたちもこの素晴らしい環境を維持しようと、工夫しながら取り組んでくれています。

○読書活動推進事業では、取組がしっかりと根付き、休み時間も本に触れる児童が数多くみられました。また、図書室の整備も進み、様々なジャンルの本に親しむ児童が増え、子どもたちの知識の広がりにも役立っています。

来年度に向けて

○地域に根付いてきた取組も多く、年間計画による位置付けを工夫しながら、来年度以降も継続及び推進を目標に事業を進めていきたいと考えています。また、協力していただける人材を増やし、新たな計画と組み合わせながら、さらなる充実を図っていきたいです。

めざす子ども像

気づく、学び、考える、子どもを育てる

取組目標

豊かな心を育み、いきいきと活動する幼児をめざして
自ら関わる・感じる・考える環境構成のあり方

今年度の取組紹介

◆「環境整備事業」花苗植えから藍染

保護者や地域の方の協力を得て花壇や畑の環境整備を子ども達と一緒に行いました。その花壇やプランターに子ども達が様々な花苗を植えました。「水やりをしよう」「この花私が植えた」と登園すると友達と水やりをしたり「綺麗な花が咲いてきた」と、降園時にお家の人と一緒に植えた花を見たりする姿がありました。また、自分達で育てた花や葉で色水遊びを楽しみました。藍の葉のたたき染めでは、「葉っぱが写った」「緑から色が変わった」と葉の綺麗さと色の変化に驚いていました。藍染は園内作品展に掲示し、家族や地域の方など多くの方に見ていただき、子ども達の自信になりました。



◆「感動体験事業」地域・親子ふれあいコンサート

今年度のふれあいコンサートは、地域の方や未就園児親子、保護者、園児と一緒に歌やピアノ、ギター、サックスの生演奏を聴き、感動的な時間となりました。子ども達の大好きな曲やクリスマスソングを口ずさんだり、弾き語りに耳を傾け聴き入ったりしました。「パプリカ」の演奏では曲に合わせて自然とリズムをとり、踊り出す子ども達の様子に地域の方も保護者も心ひとつになり笑顔が溢れ、心温まる時間を過ごすことができました。子ども達は楽器に興味をもったり音楽にふれたりする楽しさを味わったりして本物に接することでより感動が深まりました。



今年度のまとめ

年間を通して様々な方の協力を得て、全ての活動が充実した取り組みとなり多くの感動体験の場となりました。活動を継続することで楽しさが増し、行動や気持ちに積極性が見られるようになりました。また、友達や地域、保護者の方と一緒に活動することで子ども達はさらに楽しさを感じ言葉で表現したり、考え工夫したりする機会となりました。そして、子ども達の活動の様子を地域や保護者の方に知っていただくことで子ども達も力を発揮できる場となり、自信や意欲に繋がりました。

来年度に向けて

- 来年度も子ども達の興味や関心を踏まえて感動体験事業を計画し、地域の方との関わりの中で園生活が豊かになり、いきいきと活動する幼児の育成を進めていきたいと思います。
- 地域や保護者の方の協力を得て環境を整えることで子ども達が豊かな体験を積み重ねていけるようにしていきたいと思います。

めざす子ども像

気づく、学ぶ、考える子どもを

地域と学校が共に育てる

取組目標

地域とのつながりを大切にしながら取り組み、子どもたちが楽しさ、温かさ、思いやりを感じられる取り組みの充実

今年度の取組紹介

今年度新たな取り組みとして、土曜参観の活動の中に登美ヶ丘北中学校で行われている『ひつじ牧場』の羊に来てもらい、ふれあい感動体験を行いました。地域で決める学校予算事業や中学校での取り組み、地域の方々など幅広く知ってもらう機会となりました。また、中学校で募集していた羊の名前を園児と保護者が考え応募し、中学校の生徒会で採用されたこともあり、羊に興味をもち中学校に足を運んだという保護者の話からも、事業の成果がうかがえます。園内でも園児が絵をかきながら「もこもこした毛やつた」「葉っぱ食べていたよ」と興味をのびのびと表現活動を楽しむ姿も見られました。



「ふれあいコンサート」では、声楽をされている地域の方に来ていただき、本物に触れる機会となりました。きれいな歌声を聞いたり、歌い方を教えていただいたりしたことで、歌う楽しさをより感じる事ができました。



環境整備事業では、地域の方の草刈り、剪定、花壇整備等園児がのびのびと活動できるように整えていただきました。今年度は、花苗を多く植えたことで、「この花をゴシゴシしたら、紫色の水ができる。」「下の方からちっちゃな丸いのが出てきているよ。」など、園児の興味や関心、遊びへの活用につながりました。



今年度のまとめ

- 今年度は、新たな事業内容を計画してきたことで、園児の新しい感動体験ができた。地域の方とのかかわりと共に、羊を通して中学校に興味をもつきっかけとなったので、来年度以降も地域・学校とのつながりを大切に行っていきたいと思います。

来年度に向けて

- 地域の人材を発掘し、今後も連携をとり地域の教育力を生かし、園活動の充実に取り組んでいきたいと思います。